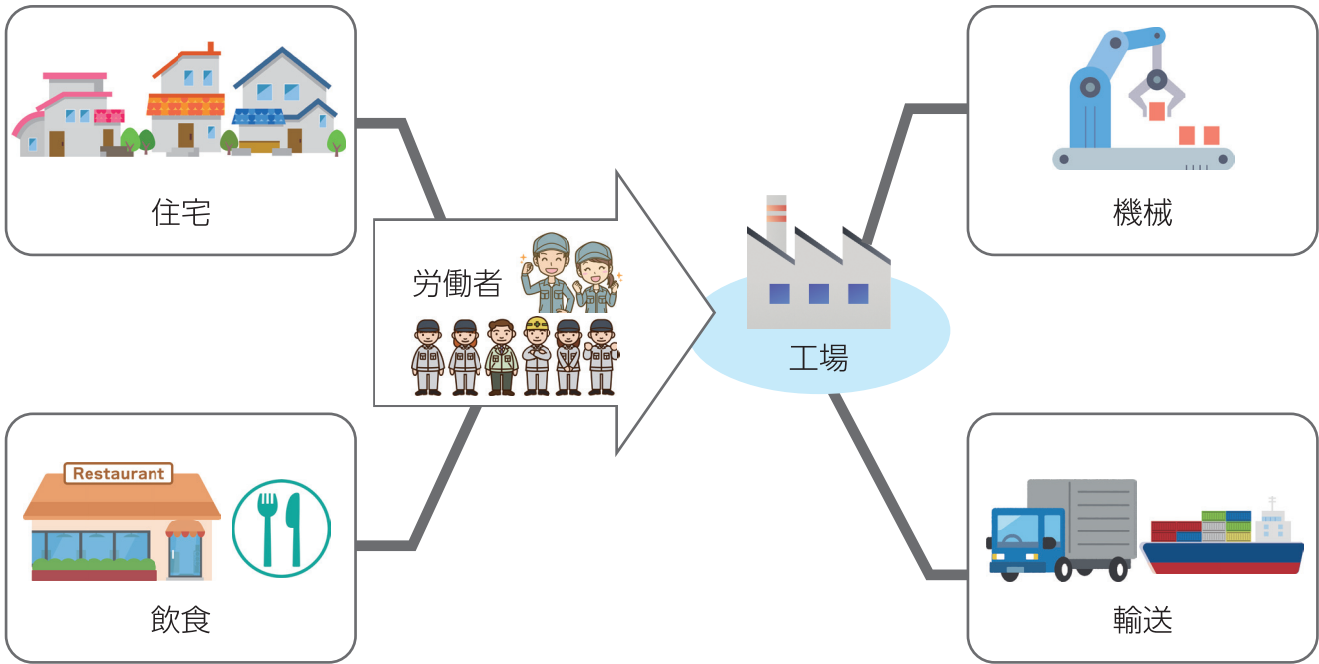
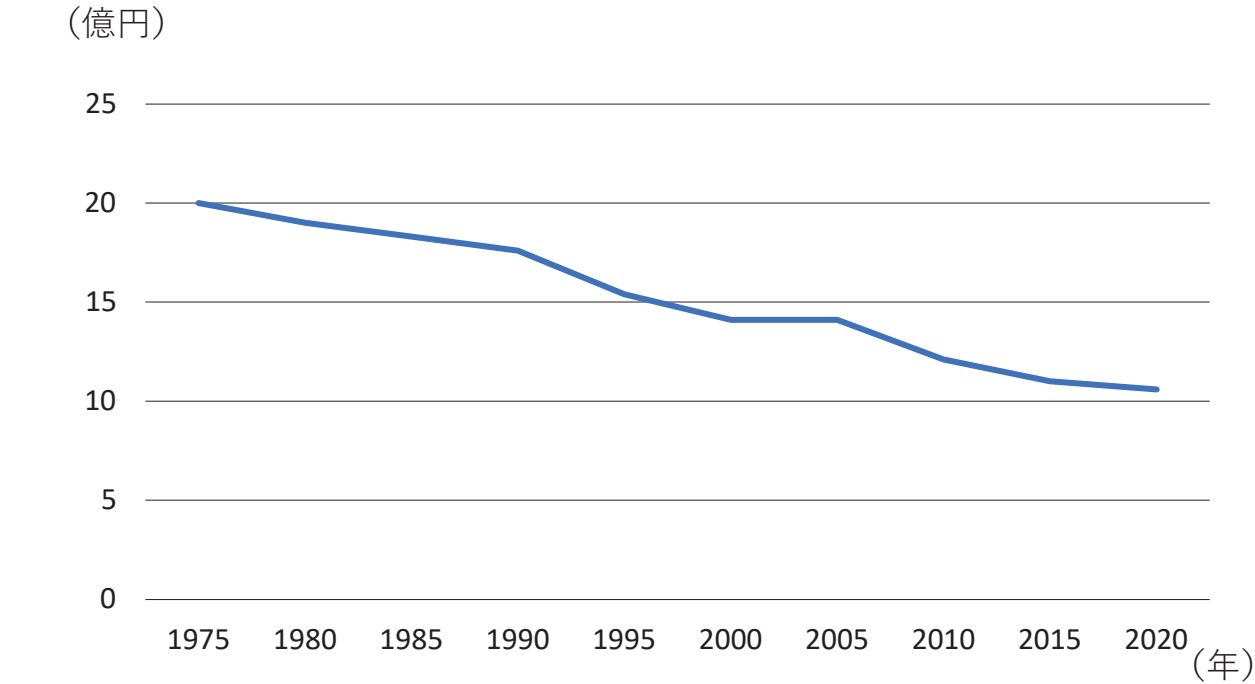


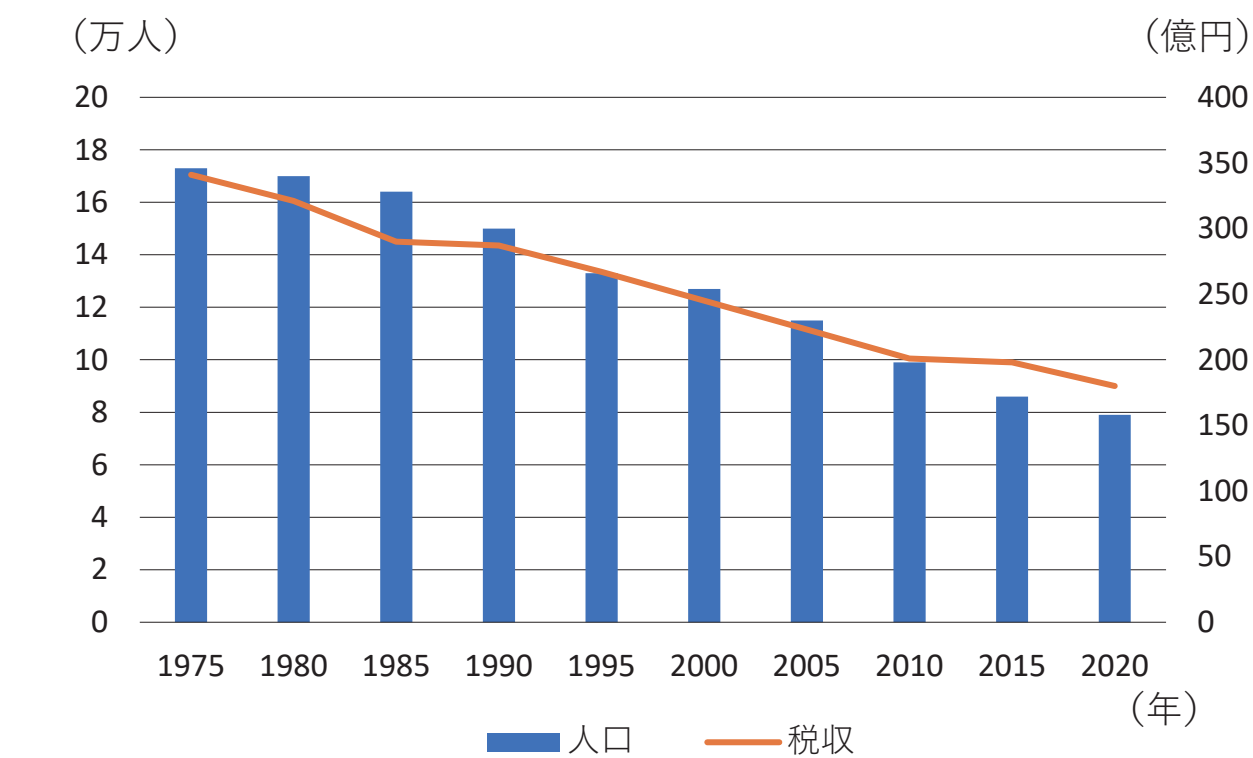
資料① 工場建設によって期待できる経済効果



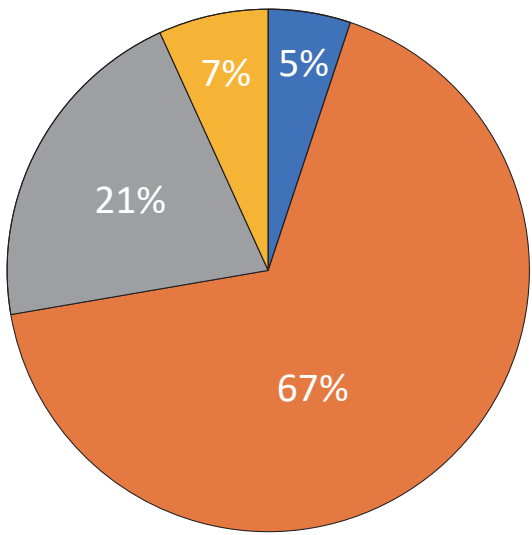
資料③ X 町の漁業産出額の推移



資料② X 町の人口と税収の推移



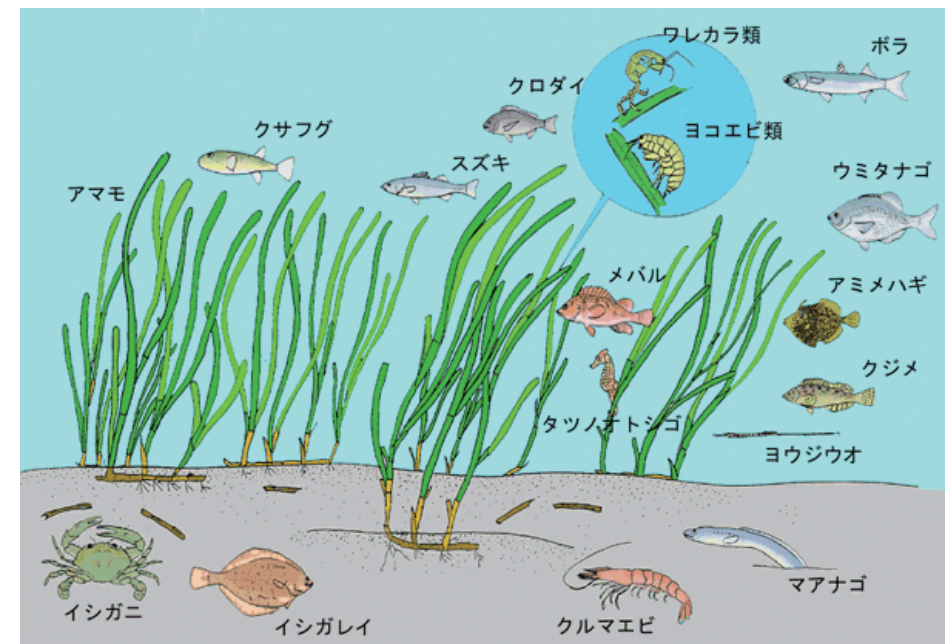
資料④ X 町の住民の声
(自然環境と収入のどちらを重視するか)



- 自然環境より収入
- どちらかといえば自然環境より収入
- どちらかといえば収入より自然環境
- 収入より自然環境

資料⑤

アマモ場とは



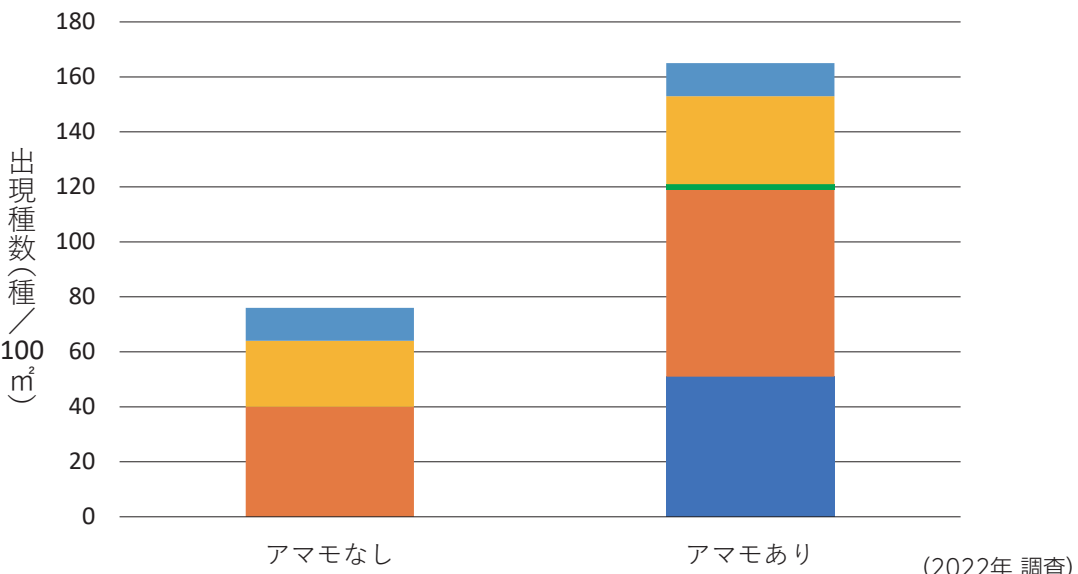
環境省
せとうちネットHPより引用

アマモは北海道から沖縄の砂底や泥底の穏やかな海に生育する植物の一種です。アマモがたくさん生えている場所は「アマモ場」と呼ばれています。

アマモ場では、アマモによって波がおさえられて、水の流れが穏やかになります。また、隠れる場所がたくさんあるため、魚や貝、エビなどが卵を産み、子どもが育つのにちょうどよい場所になります。

資料⑥

X 町沿岸のアマモ場周辺における生物種数調査



(2022年 調査)

- 出入り生物 …… スズキなど、すみかを定めず、移動しながら生活する生物
- 定着生物 …… カレイなど、すみかをあまり変えない生物
- 卵・稚魚 …… 魚やイカなどの卵や子ども
- 底生生物 …… 二枚貝やミミズの仲間など、海底の砂のなかで生活する生物
- 葉上生物 …… 小型の巻貝やエビ、カニの仲間など、アマモの葉の上で生活する生物

資料⑦

アマモの生育条件の調査

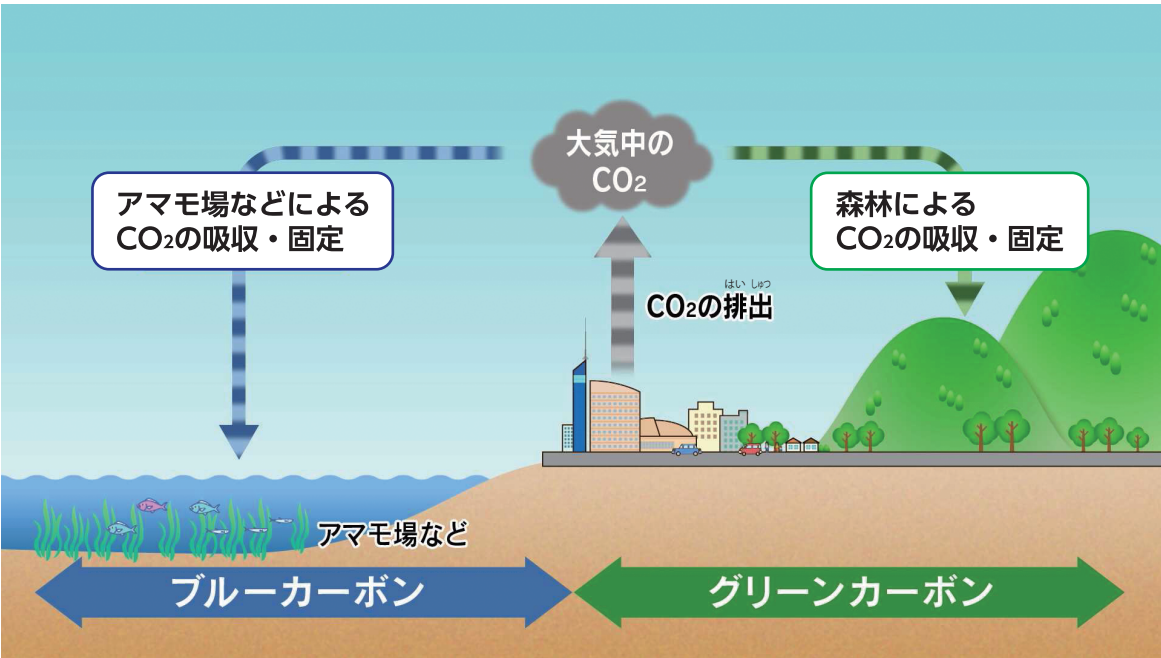
調査地点	水深 (m)	海底の流速 (m/秒)	アマモあり:○ アマモなし:×
a	4.2	0.5	○
b	5.6	0.7	×
c	8.1	0.4	×
d	3.3	0.2	○
e	12.5	0.2	×
f	2.2	0.1	○
g	15.9	0.4	×
h	5.0	0.5	○
i	3.8	0.2	○
j	4.3	0.8	×
k	7.5	0.4	×
l	11.1	0.2	×
m	9.5	0.5	×
n	4.4	0.6	○
o	6.0	0.9	×
p	13.3	0.4	×
q	2.7	0.3	○

(2022年 調査)

X 町周辺の17カ所で調査を行い、アマモの有無と環境条件を調べました。

資料⑧

ブルーカーボンとは



RKB毎日放送HPより引用 (一部改変)

二酸化炭素 (CO₂) は地球温暖化の原因の1つだと考えられています。陸上の森林などが吸収する二酸化炭素をグリーンカーボンと呼びます。これに対して、アマモのような海草や植物プランクトンなど、海の生物が吸収する二酸化炭素をブルーカーボンと呼びます。